

	R3年度 2021年	R4年度 2022年	R5年度 2023年	R6年度 2024年	R7年度 2025年	R8年度 2026年	将来目標 2030年	
市の流れ							日本人も外国人も心の国際交流ができる静岡の実現	
<p>多様な個性を持つ市民が互いに尊重し、共生することができる社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の理念</p>								
多文化共生教育の充実	<p>多文化共生教育教材作成 教員研修</p>	<p>授業実践研究 検証・改善</p>	<p>多文化共生教育の推進・多言語交流会の継続的实施</p> <p>※多文化共生教育の実践研究及び教員研修 ※地域の実情に応じた多言語交流会の開催</p>					<p>困難を抱える子どもが、</p> <p>○自己の学びを深めることができる</p> <p>○孤立せず安心して生活を送ることができる</p>
【連携】 ・国際交流課 ・SAME ・大学 ・地域、保護者	<p>多言語交流会開催 ニーズに応じた多国籍児童生徒及び保護者のコミュニティの在り方について研究</p>							
共生教育における推進体制の構築	<p>アセスメントに係る連携強化</p> <p>共生社会の実現を目指す組織の検討</p>	<p>スタッフの協働による支援・指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 個別最適な支援                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切なアセスメント</li> <li>・「読み」「書き」指導・ICT活用</li> </ul> </li> <li>■ 研修プログラムの開発                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語指導・特別支援</li> <li>・合同研修会開催</li> <li>・効果的な施策の企画</li> </ul> </li> <li>■ 実践研究 検証・改善                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様なニーズへの対応</li> </ul> </li> </ul> <p>共生社会の実現に向けた市民の拠点づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子どもや保護者が交流できるコミュニティづくり</li> <li>■ 市民ボランティアが参画・活躍する拠点づくり</li> <li>■ コーディネーター配置による相談機能の充実</li> </ul>						
特別支援教育の充実	<p>【連携】 ・障害福祉企画課 ・障害者協会 ・大学 ・NPO ・医師</p>	<p>モデル的に専任化するための調査研究 ※特別支援教育コーディネーターの専任化による教育効果の調査研究</p>		<p>専任コーディネーター配置</p>		<p>効果検証</p>		
		<p>専任特別支援コーディネーター研修の実施 ※高い専門性と調整力を兼ね備えたコーディネーターの育成</p>						

日本語指導

特別支援

※ 条例制定に合わせ、支援体制を強化するため、共生社会の実現を目指す教育推進課を立ち上げる。